

「秋のことともまんなか月間」in KYOTO 高校生 メッセージ

突然ですが、皆さんは SNS の使い方に自信はありますか？

実は、SNS を利用している全体の約 3 分の 1、つまり 3 人に 1 人が SNS を通じてトラブルや誹謗中傷を経験しているそうです。

実際に、私も SNS を使う中で「便利さの裏にある危うさ」を感じたことがあります。たとえば、顔が見えないやりとりの中で、軽い気持ちで送った言葉が相手を傷つけてしまったことがあります。そのとき私は、すぐに謝るだけでなく、相手の気持ちをしっかり聞きながら話し合うことで解決できました。この経験を通して、「自分の言葉を相手がどう捉えるか」を意識する重要さに気づきました。SNS は、誰でも簡単に自分の意見を発信できる、とても便利なものです。その便利さの裏には、ちょっとした「危うさ」も潜んでいます。しかし、送る前にはほんの一瞬でも「この言葉を言われたら、相手はどう思うだろう」と踏みどまり考えるだけで、そうしたトラブルは減らせるのではないかと思います。

SNS は使い方次第で他人を励ますこともできる便利なツールである一方、他人を傷つけてしまうこともあります。だからこそ、私たち一人ひとりが思いやりのある使い方を意識することが大切です。

顔が見えない世界だからこそ、言葉に「ぬくもり」を込める。そんな小さな意識の積み重ねが、SNS を通じてこれから社会をもっと優しい場所に変えていくのだと思います。これから社会に出る私たちにとって、言葉の力を意識することはとても大切です。ほんの少し相手の気持ちを考えるだけでも、人とのつながりを深め、よりよい社会を作る一歩になります。

だからこそ、これから私たちには相手が笑顔になれるようなあたたかい言葉を選べる人であるべきだと思います。

京都府立城陽高等学校 ダンス部 小野楓菜